

建学の精神とキリスト教 - 501 【第4回】

私学・同志社

同志社大学 神学部教授
良心学研究センター長
小原 克博

1

1

私学の歴史的意義 — 近代史を振り返って —

3

Overview

1. 私学の歴史的意義
——近代史を振り返って
2. 同志社英学校から同志社大学まで
3. 今回の課題

2

明治初期 — 近代教育の形成

- 私学の興隆
- 教育の国家管理が確立
 - 学制（1872年）、教育令（1879年）、徴兵令の改正（1879年）、中学校教則大綱（1881年）
- 私学への影響

4

学制（1872年）

- 全国に8校の大学、256校の中学校、53,760校の小学校を作るという計画。
- 1875年：大学0校（東京大学は1877年創立）、中学校26校、小学校24,303校。
- 文部省による調査（官立学校・私立中学校、外国語学校を対象）
 - 1874年：総数106校（官立10校、**私立96校**）
 - 1878年：総数579校（官立・公立65校、**私立514校**）

5

徴兵令の改正（1879年）

- 徴兵猶予の条件を私学の学生には適用しない。
- 明治政府による私学抑制政策の一環。

7

教育令（1879年）

- 地方分権主義を含む。
- 自由民権運動の影響。民衆の教育的要求に基づき、**独自の教育理念**をもった学校設立の機運が高まった。
- 他方、地方長官から明治政府に対し、私学教育への干渉を可能とする「私学条例」の制定が頻繁に求められた。

【参考】沖田行司『新訂版 日本近代教育の思想史研究』2007年、学術出版会

6

中学校教則大綱（1881年）

- 中等教育の統一がはかれる中で私学の数が激減。
- 文部省による調査（1883年）
 - 1878年：私立514校
 - 1883年：**私立6校**

8

徴兵令改正時の新島襄の言葉

- 今の令により考えれば、私塾に勢いを断ち、益々官校を盛んならしむが如し、これ策の上なる者にあらず。
- 私塾は政府に於いて捨てて問わざるが如し。これ何の意ぞ。政府の学校のみが国に適する学校か、人材を養成するか。
- **自由の精神を養成する**は恐くは私塾に優らざるべし。
（「記行」明治12年11月、同志社編『新島襄 自伝』岩波文庫、2013年、194-5頁）
👉 『新島襄365』【6月21日】

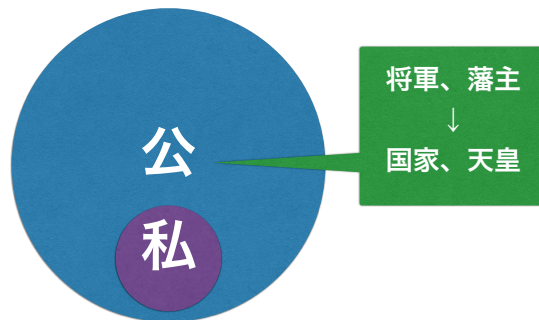
9

「大学設立の旨意」から

もと
素より資金の高より云い、制度の完備したる所より云えば、私立は官立に比較し得べき者にあらざるべし。然れどもその生徒の独自いっこの氣象を發揮し、**自治自立の人民を養成**するに至っては、これ私立大学特性の長所たるを信ぜずんばあらず。（「同志社大学設立の旨意」1888年、『新島襄教育宗教論集』28頁）
👉 『新島襄365』【1月17日】

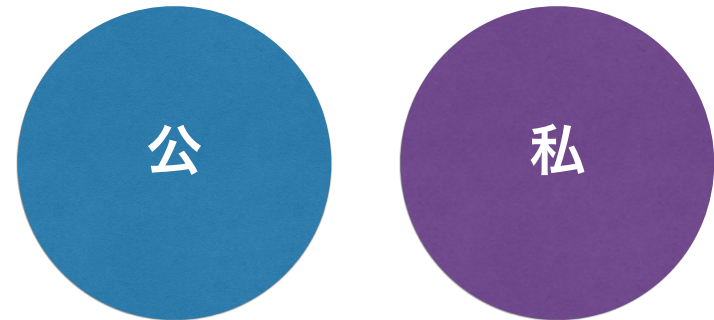
10

【復習】 新島のアイデンティティの変化



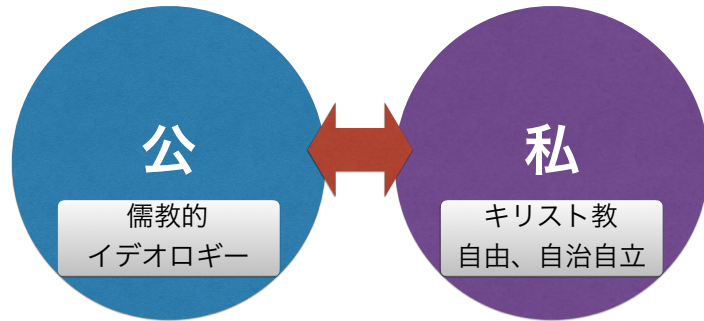
11

【復習】 新島のアイデンティティの変化



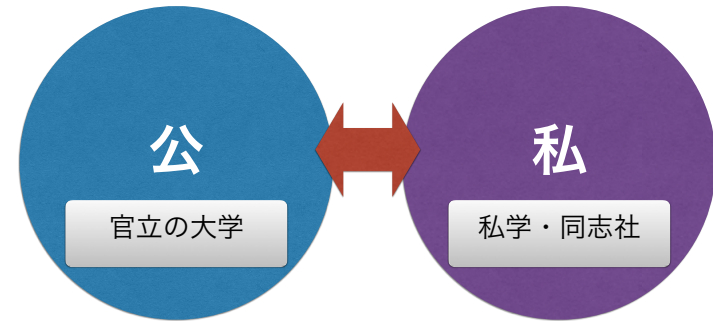
12

【復習】 新島のアイデンティティの変化



13

私立大学としての同志社



14

近代から持ち越された現代の課題

- 国家による教育の管理——教育の均一化
 - 「生産性」の高い人材の育成
(工場型教育)
- 知育と徳育の関係——道德教育の位置づけ
 - 日本において道德は国民道德であり続けた。

15

2

同志社英学校から 同志社大学まで

16

なぜ京都に？

17

アメリカン・ボードと関西

- アメリカン・ボードのメンバーは全員、関西に居住。
- ステーション（伝道拠点）は神戸と大阪。
- 最初の宣教師はグリーン（1869年）。その後、ギュリック、デイヴィスらも神戸に。
- 新島はグリーンの手配により大阪へ。
- ゴードンの借家に仮住まいする。

19

当時の京都

- 京都はキリスト教にとって未開拓の都市
- 京都は外国人（宣教師）を排除する都市
- 京都は伝統宗教の中心地
- 京都はプロテスタントに対する迫害が起きた都市
 - 市川栄之助事件（1871年）：逮捕・獄中死
 - 関忠蔵事件（1872年）：逮捕・収監

18

大阪での学校設立構想

- デイヴィスが新島の学校設立構想を支持。
- キリスト教関係者以外の支援者
—— 木戸孝允、伊藤博文（1875年、大阪会議）
- しかし、大阪府知事の許可が下りなかった。キリスト教がネックとなった。
- 新島は、息抜きと観光を兼ねて京都見物に（1875年4月）。山本覚馬との出会い。

20

山本覚馬



- 戊辰戦争では薩長などの「西軍」と戦闘。捕らえられ、京都の薩摩藩邸に幽閉。
- 獄中で「管見」という建白書を記す。
 - 政体、議事院、**学校**、変制、国体、建国術、製鉄法、貨幣、衣食、**女学**、平均法、醸酒法、条約、軍艦国律、港制、救民、髪制、**変佛法**、商律、時法、暦法、官医
- 釈放後、京都府に顧問格として用いられる。「町興し」事業として博覧会を開催。

21

第一次大学設立運動（1882～84年）

- 1881年、自由党系の土倉庄三郎が古沢滋を連れて新島宅を訪ね、大学設立のために5000円の寄付を申し出る。
- 大学設立への情熱
 - 1882年11月、「大学設立之主意之骨案」を起草
 - 自治自立の人民の育成。宗教兼哲学、医学、法学を擁する大学。智徳並行主義。
- 1884～85年の新島の洋行のため、この運動は頓挫。

23

同志社英学校の設立



- 1875年3月、ゴードンが山本と出会う。漢文のキリスト教入門書『天道溯原』を山本に贈呈。
- 1875年4月、新島が山本と出会う。山本はキリスト教学校設立を支援。秋、新島と山本八重の婚約が成立。
- 1875年8月、「私塾開業願」を府に提出。同志社の発起人は新島と山本。文部省のトップは田中不二麿。
- 1875年11月29日、同志社英学校の設立。生徒は8人、教師は新島とデイヴィスの2人。

22

第二次大学設立運動（1888～90年）

- 1888年11月、徳富蘇峰が「同志社大学設立の旨意」を起草。
- 『国民之友』ほか、全国の主要な新聞、雑誌に発表。



24

新島亡き後の同志社

- ・1890年、遺言の中で「政法理財学部を東京に設置」すると筆記させる。
- ・1890年、ハリス理化学校の設立（1896年閉鎖）。
 - ・理工学部の前身
- ・1891年、同志社政法学校の設立（1904年閉鎖）。
 - ・法学部や経済学部の前身

25

同志社英学校設立から 百数十年後の京都で

27

同志社大学へ

- ・1912年、専門学校令による大学に
 - ・関西では初めての私立大学。キリスト教大学としても全国初
 - ・神学部と政治経済学部（英文科、政治科、経済科）
- ・1920年、大学令による大学に
 - ・関西では初めての私立大学。キリスト教大学としても全国初
 - ・文学部（神学科、英文学科）と法学部（政治経済学部を改称。政治学科と経済学科）

26

京都・宗教系大学院連合（K-GURS）

- ・2005年設立。仏教同士の対話の促進、マイノリティとしてのキリスト教の役割。後に神道の皇學館大学も加盟。
- ・若い世代（将来の僧侶・牧師）における宗教間対話の促進
- ・共通の課題認識
 - ・チェーンレクチャー、研究会等を開催

28

同志社大学 良心学研究センター

- ・ 2015年設立。
- ・ 宗教的価値と世俗的価値（科学を含む）を架橋する力として「良心」を探究。
- ・ 2017年、公開シンポジウム「仏教とキリスト教の対話——共通善を求めて」
講師：大谷光真（浄土真宗本願寺派・前門主）

29



31



30



32



3 今回の課題 (600~800字)

- 今回の講義の中で、あなたの印象に残った (重要であると思った) 点 (複数可) を、その理由と共に述べてください
- 『新島襄365』【5月1日】～【5月31日】を読み、もっとも関心をひかれた日付を《二つ》あげ、それぞれ、その理由を述べてください。